

雨の強さ、降り方と災害の危険性など

次の表は、雨の強さと降り方の目安、それに伴う災害の危険性を示したものです。普段から雨の様子に注意し、警報や避難勧告が出る前でも、危険と判断すれば自主的に避難することが大切です。

|             | やや強い雨<br>10～20mm未満          | 強い雨<br>20～30mm未満                                      | 激しい雨<br>30～50mm未満                  | 非常に激しい雨<br>50～80mm未満                                 | 猛烈な雨<br>80mm以上                          |
|-------------|-----------------------------|-------------------------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------------------------|-----------------------------------------|
| 1時間雨量と予報用語  |                             |                                                       |                                    |                                                      |                                         |
| 人の受け取りイメージ  | ●ザーザーと降る。                   | ●どしゃ降り。                                               | ●バケツをひっくり返したように降る。                 | ●滝のように降る。<br>(ゴーゴーと降り続く)                             | ●息苦しくなるような<br>圧迫感がある。<br>●恐怖を感じる。       |
| 人への影響と屋外の様子 | ●地面からはね返り<br>で足もとがぬれる。      | ●傘をさしていてもぬれる。<br>●車の場合、ワイパーを<br>速くしても見づらい。            | ●道路が川のように<br>なる。                   | ●傘はまったく役に立たなくなる。<br>●水しぶきで、あたり一面が白っぽくなり、<br>視界が悪くなる。 |                                         |
| 災害の危険性      | ●この程度の雨でも、<br>長く続くときは注意が必要。 | ●側溝や水路、小さな<br>川があふれ、道路冠水のおそれがある。<br>●小規模のがけ崩れのおそれがある。 | ●山崩れ、がけ崩れが<br>起きやすくなり、危険地帯では避難が必要。 | ●土石流が起こりやすい。<br>●多くの災害が発生する。                         | ●雨による大規模な<br>災害の発生するおそれ強く、<br>厳重な警戒が必要。 |

表に示した雨量と同じであっても、降り始めからの総雨量の違いや、地形や地質等の違いによって被害の様子は異なることがあります。この表では、ある雨量が観測された際に通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。

河川の水位情報

河川の水位が上昇して洪水のおそれがあるとき、避難情報を発令します。各避難情報は、各河川で定められた水位の基準に達するなどの状況から判断し、発令します。

| 水位の名称等  | 避難情報等                 | 内 容                        | 日野川   |      |      | 野洲川  |             | 童子川  |
|---------|-----------------------|----------------------------|-------|------|------|------|-------------|------|
|         |                       |                            | 仁保橋   | 桐原橋  | 安吉橋  | 野洲   | 河川公園<br>野洲川 | 一本橋  |
| 氾濫危険水位  | 警戒レベル4相当<br>避難指示の目安   | 氾濫するおそれのある水位               | —     | 5.10 | 4.10 | 4.80 | —           | —    |
| 避難判断水位  | 警戒レベル3相当<br>高齢者等避難の目安 | 住民の避難の目安<br>のひとつとなる水位      | —     | 3.80 | 3.40 | 4.30 | —           | —    |
| 氾濫注意水位  |                       | 水防団などが、水害の発生に備えて出動の目安とする水位 | 0.93  | 3.00 | 2.70 | 3.50 | 2.00        | 1.50 |
| 水防団待機水位 |                       | 水防団などが、水防活動に入る準備を行う目安とする水位 | -0.17 | 1.80 | 1.80 | 2.50 | 1.50        | 0.65 |
| ふだんの水位  |                       |                            |       |      |      |      |             |      |

単位:m

大雨時の情報

下記のような場合、気象庁から「注意報」「警報」が発表されます。さらに、警報の発表基準をはるかに超える豪雨等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合、「特別警報」が発表され、最大限の警戒を呼び掛けます。  
※「特別警報」が発表されない場合でも、甚大な被害が発生する可能性があります。

| 大雨・洪水注意報                                                                | 大雨・洪水警報                                                                             | 大雨特別警報                                                      |
|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| 災害が発生するおそれがある                                                           | 重大な災害が発生するおそれがある                                                                    | 「警報」よりも、はるかに高い危険度                                           |
| <b>大雨</b><br>大雨により、浸水災害や土砂災害などが発生するおそれがあると予想したときに発表。                    | <b>大雨</b><br>大雨により、 <b>重大な浸水災害や重大な土砂災害</b> などが発生するおそれがあると予想したときに発表。                 | <b>大雨</b><br>台風や集中豪雨により <b>数十年に一度の降雨量</b> となる大雨が予想されるときに発表。 |
| <b>洪水</b><br>大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。 | <b>洪水</b><br>大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による <b>重大な災害</b> が発生するおそれがあると予想したときに発表。 | 「洪水」は、全国約400の河川において指定河川洪水予報を発表しているため、特別警報の設定はありません。         |

記録的短時間大雨情報

数年に一度しかないような、短時間の猛烈な雨が観測された場合には、気象台から、「記録的短時間大雨情報」が発表されます。この情報が発表された地域では、周囲の状況や雨の降り方に注意し、少しでも危険を感じた時はすぐに安全な場所へ避難しましょう。

土砂災害警戒情報とは



土砂災害警戒情報とは、大雨警報の発表中に、土砂災害発生危険度が高まったとき、滋賀県と彦根地方気象台が共同で発表する情報です。  
土砂災害警戒情報が発表されたら、土砂災害に厳重に警戒し、市からの情報を入手して避難してください。また、土砂災害警戒情報が発表されていなくても、地形や地質の条件により土砂災害が発生するおそれがあるため、その他の防災情報などにも十分注意しながら、避難行動をとってください。

滋賀県 土木防災情報システム

<https://shiga-bousai.jp/>

滋賀県 防災 検索

▲土砂災害の危険度情報は、滋賀県がインターネットで公開している「滋賀県土木防災情報システム」で確認することができます。  
※上記URLか、右のQRコードからご確認ください。

土砂災害から身を守るために

災害では早めに避難することが大事ですが、どうしても避難場所への移動が困難なときは、次善の策として近くの頑丈な建物の2階以上に緊急避難するか、それも難しい場合は家の中でより安全な場所（がけから離れた部屋や2階など）に避難しましょう。

- 3つのポイント
- 住んでいる場所が「土砂災害（特別）警戒区域」かどうか確認
  - 雨が降り出したら土砂災害警戒情報に注意
  - 危険を感じたら早めに避難

